



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



よし、その調子（少年少女スキー教室）



未来の消防士（幼年消防クラブ）



平成 26 年むかわ町成人式

- 2 議会基本条例
- 4 第4回定例会
- 6 平成24年度各会計決算特別委員会
- 8 ここが聞きたい!! 3議員が一般質問
- 11 委員会レポート
- 12 町村議会議長会全国大会

No. 30

2014. 1. 31 発行



むかわ町議会

☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会

☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

開かれた議会をめざして

むかわ町議会基本条例

平成26年1月1日より施行開始

- 平成25年第4回議会定例会において、「むかわ町議会基本条例」が可決され、平成26年1月1日より施行されています。
- 議員一人ひとりが、町民の皆さんの多様な意見を町政に反映させるという原点に立ち返り、命が吹き込まれた条例となるよう努力してまいります。
- ### 制定までの道のり
- ◆平成19年9月21日、議会改革特別委員会を設置し、責任ある議会・開かれた議会をめざして
 - ・議会基本条例策定の検討
 - ・議会報告会の開催
 - ・議会中継の実施
 - ・議員定数の検討
 - ◆平成22年7月 まちづくり計画と平行して2年間で検討を進める。
 - ◆平成23年3月 議会に改革委員会としての取組状況を中間報告し、先進地を参考に取組みを進めることとする。
 - ◆平成23年7月 むかわ町議会基本条例（素案）を作成し、内容の検討を始める。
 - ◆平成24年3月 まちづくり基本条例に議会事項を含み一体型とすることはできないか検討。
 - ◆平成24年10月 独自の基本条例設置について町民懇談会で意見交換を行う。
 - ◆平成25年1月 議会基本条例をつくることとする。
 - ◆平成25年8月 反問権、防災条例について協議
 - ◆平成25年10月 「むかわ町議会災害対策支援本部設置要綱（案）」について協議
 - ◆同月地域協議会、まちづくり委員会と意見交換。パブリックコメントの実施。
 - ◆平成25年11月 意見交換の結果を反映させた条例について協議
 - ◆同月 条例内容について議員全員で最終確認を行う。
 - ◆平成25年12月 第4回議会定例会に議員提案する。
 - ◆平成26年1月 施行。

前 文

平成18年3月、国の構造改革から地方自治体としての存続が厳しく、生き残りをかけた旧穂別町と旧鶴川町が合併し誕生したむかわ町。

地方分権の時代を迎えて、自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、町民の皆さんの付託を受け選ばれた議員により構成される町議会（以下「議会」という。）が町民の皆さんの代表機関として、地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために果たす役割はますます大きくなっています。

議会は、その持てる機能を十分に駆使し、自治体業務の立案、決定、執行、評価における論点・争点を広く明らかにする責務を有しています。

自由闊達な討議を通じて、これら論点・争点を町民の皆さんに公開するという議会の重要な使命を達成するため、「むかわ町議会基本条例」を制定します。

わたしたちは、地方自治法（以下「法律」という。）並びに町の最高規範であるむかわ町まちづくり基本条例の遵守とともに、積極的な情報の公開、政策活動への多様な町民参加の推進、議員間の自由な討議の展開、行政機関との持続的な緊張の保持、議員の自己研さんと資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等について、議会運営のルールをこの条例に定め、実践することにより、町民の皆さんにより信頼される議会づくりをめざします。

議会基本条例の構成

前文

- 第1章 目的・責務
- 第2章 議会及び議員の活動原則
- 第3章 町民と議会の関係
- 第4章 町長と議会の関係
- 第5章 自由討議の拡大
- 第6章 議会及び議会事務局の体制整備
- 第7章 議員の身分・待遇・政治倫理
- 第8章 議会防災活動
- 第9章 規範及び手直し



議会基本条例の特徴

むかわ町議会として特徴的な条文は、第4章に「反問権(※)」について明記したこと、第8章に災害時に議会としてどのような対応をするかを制定したこと

です。
特に災害対応については、今まで災害発生時に議員個々が対応していたのに対し、「むかわ町議会災害対策支援本部設置要綱」をつくり全議員が一つとなって、町や防災組織を協力支援することにより、町民に対してより迅速に対応できる体制

みなさんから いただいたご意見

議会基本条例をつくるにあたり、各地域協議会、まちづくり委員会と意見交換を実施し、多くの意見をいただきました。

また、パブリックコメント(※)によりご意見をいただきました。ご協力あり

づくりを目指して基本条例に取り入れられました。

むかわ町議会基本条例は、動き出したばかりです。町民と議会の関係がよりよくなるように、常に内容を検討し、見直しをすることと

※反問権

本会議などでは議員が町長に対して質問をします。が、町長が議員に対して質問することができません。反問権とは町長が議員に対して質問することができることです。

がとうございました。

※パブリックコメント

公的機関が規則等を制定するときに広く意見を募集して、その結果を反映するために行う手続きのこと。

意見① 全文の「町民の皆さんに選ばれた議員」の文言を、議員の責任が現れる表現にしては。

回答① ご意見を尊重し、「町民の皆さんの付託を受け選ばれた議員」に修正します。

意見② 第4条第3項の「町民全体の福祉の向上」の文言では、福祉の向上だけと解釈されないか。

回答② ここでの「福祉」は、「多くの人々のしあわせ」という意味で使っています。本文には載せませんが、解説に「町民全体の福祉(多くの人々のしあわせ)の向上」と記載します

意見③ 第5条第7条の「議会報告会を少なくとも1回」の表現に違和感を感じます。「最低限」または「最低限度」としては。

回答③ ご意見として承ります。

意見④ 第11条、事務局の体制整備、強化により、議会、委員会が事務局に一括

で預け、議員自らが行動・学習を怠るようでは賛成できない。また、町職員の配置増では、財政健全化を唱える議会としてはいかがか。

回答④ 事務局の体制強化とは、知識等のレベルアップを目指すもの。議員については、第12条の議員研修の強化により議員のレベルアップが図られ、議員自らが行動・学習を推進するものと考えます。

意見⑤ 町議への立候補は80歳以上はできない制度の制定をしてはどうか。

回答⑤ 町村議会議員の被選挙は、日本国民で満25歳以上であること、その町の町村議会議員の選挙権を持っていることとなります。年齢制限を設けることは法律上認められません。

意見⑥ 開かれた議会としてもっと具体的行動して欲しい。議会傍聴を増やすための工夫を。

回答⑥ 現在、日曜議会や議会中継システムを導入してネット配信しています。

今後は、議会・委員会の開催等の住民周知方法を検討します。

意見⑦ 災害対策本部が町と議会で2系統に分かれて、町民に混乱が生じないか。

回答⑦ 2系統に分かれるのではなく、あくまでも互いに連携して早期解決するために設置するものです。

意見⑧ 防災など、行ってみないとわからないので、問題があれば手直しをしてください。

回答⑧ 常に検討をすすめ

見直しをしていきます。

議会基本条例の全文につきましては、町のホームページに記載しております。

◆ <http://www.town.mukawa.lg.jp>

お問い合わせは
むかわ町議会事務局

電話

0145(42)2486

FAX

0145(42)4994

メール

gkai@townmukawa.lg.jp



子どもまとい

ふるさと納税者大幅増加

2,821 件 金額 3,688 万円 (但し、12 月末現在)

第 4 回定例会

平成25年第4回町議会定例会は、12月12日・13日の2日間開催されました。
3名が一般質問を行い、町長提出議案7件、諮問1件を審議しました。
議員からは、発議として議会基本条例案、平成25年度一般会計6件の決算認定、意見書案8件が提出され審議されました。
また、竹中議長から議長辞職願いが出され、追加日程として議長選挙等が行われました。

議 案

◆動産の買入

除雪トラックの購入

2千564万円

◆町職員の再任用に関する条例制定

公務員の年金支給開始年齢の引き上げによるもので関連する3条例も一部改正

◆税条例の一部改正

◆国民健康保険税の一部改正

地方税法の一部改正による。

各会計補正予算

◆一般会計

5千156万円追加し、85億1千400万円とする。

主な補正項目

・職員給与縮減額を減債基金へ
1千520万円

・寄付金やふるさと納税の一部を地域振興基金へ
823万円

・後期高齢者医療費の療養費確定
444万円

・出生、転入で児童手当支給が増加
408万円

・エゾシカ捕獲対策で1千頭追加(当初は2千頭)

800万円

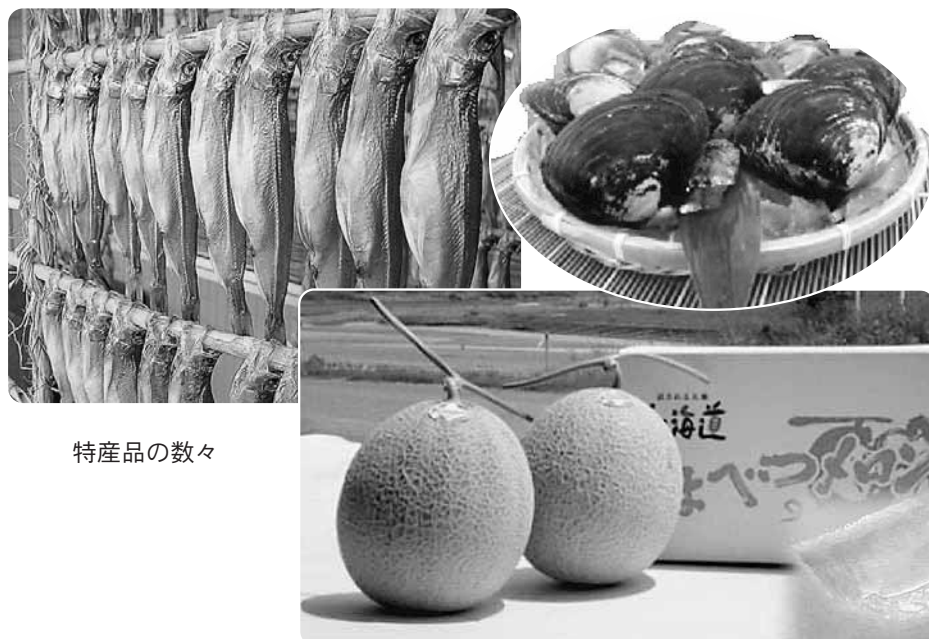
・ふるさと納税者が急増しそのお礼の増加のため
408万円

・鶴川中央小学校敷地内に建設予定の放課後子どもセンター実施設計費
1千50万円

質 疑

津川篤議員 今回、エゾシカ捕獲で千頭増やし、3千頭ですが、次年度以降はどうなりますか。

大友篤産業振興課主幹 過去の実績から年間2千頭、3年間で6千頭の捕獲計画をたて事業を進めています。最初のほうでたくさん捕獲すると被害が軽減できるので弾力的におこなって



特産品の数々

います。今年度はすでに2千500頭の実績があります。来年も2千頭を計画し、実績により補正します。

田所隆総務企画課主幹 現在、納税者数・納税額で昨年実績の約4倍になっています。
お礼の特産品はシシヤモメロン、ソーセイジ、和牛肉などで、町への応援や大変おいしかったなどのメッセージが寄せられ、大変好

評だと思っています。

◆国民健康保険特別会計

被保険者1件当たりの高額医療費増加。
2千338万円を追加し
14億7千874万円とする。

◆上水道事業会計

消費税率改定に伴う水道料金審議会の開催。

諮問

◆人権擁護委員の候補者推薦

任期満了により清本正敏氏（穂別栄）を再選しました。

発議

◆むかわ町議会基本条例の制定

この条例は地方分権の時代を迎え、議会が地域の民主主義発展と町民福祉向上のため、自治体業務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を自由闊達な討議で町民に公開することを

目的に平成26年1月1日より施行します。

採択された意見書

意見書

◆JR北海道の重大事故、トラブルの徹底した原因究明と安全運行を求める意見書

◆経営所得案例対策の来年度継続と慎重な見直しを求める意見書

◆森林・林業・木材産業施策の積極的な発展に関する意見書

◆2014年度地方財政の確立を求める意見書

不採択となった意見書

意見書

◆「特定秘密の保護に関する法律案」の廃止を求める意見書

反対10人、賛成4人
退席1人・否決

◆消費税増税中止を求める意見書

反対13人、賛成2人・否決

◆介護保険制度の後退・改悪に反対し、充実を求める意見書
反対13人、賛成2人・否決

◆泊原発の再稼働に反対し、原発のない北海道の実現を求める意見書
反対12人、賛成3人・否決

議長選挙 委員改選

追加日程として、竹中議長より議長辞任願いが出され、新たに三倉議員が議長に選任されました。

また、議長交代に伴い各委員会の委員改選が行われました。

○むかわ町議会議長

選任 三倉 英規
辞任 竹中 喜之

○産業厚生常任委員

副委員長就任

佐藤 守

委員選任 竹中 喜之
委員辞任 三倉 英規

○議会運営委員

委員長就任

三上 純一
委員選任 佐藤 守
委員辞任 三倉 英規

○議会改革特別委員

委員長就任

三上 純一
委員選任 佐藤 守
委員辞任 三倉 英規

○地域医療の充実・確保に関する特別委員

委員選任 竹中 喜之
委員辞任 三倉 英規

※議長は、本会議で中立公平を保つことが義務となつています。委員会での自己の意見を述べると反対意見の委員と対立し、中立公平性を保つことが困難になることから、議会の許可を得て各委員を辞任することができま

議長就任のあいさつ

町民の皆さんには日頃より議会に対し深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

12月12日から13日に行われた第4回定例会において竹中議長が退任したことで新しく議長に選任され、就任いたしました。その責務を肝に銘じ、専心努力する所存でございます。

4月より「まちづくり基本条例」が施行され、町民、行政、議会がそれぞれの役割分担しながらまちづくりに努めているところで、平成22年7月に議会改革特別委員会を設置し、合併当時より積み残した課題として、中継システムの導入、議会報告会の実施、そして基本条例の制定ということで話し合いを続け、この度議会の役割をより具体化し、分かりやすくした「議会基本条例」を制定しました。

第4回定例会にお



むかわ町議会議長

三倉 英規

いて可決され、新年より施行されます。町民の皆さんの多様な意見を町政に反映させるという原点に立ち返り、命が吹き込まれた条例となるよう努めてまいります。

「人と自然が輝くむかわ町」を築き上げるため、16人の議員が全力を尽くしてまいりますので引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月13日

平成24年度 むかわ町各会計決算審査特別委員会

平成24年度むかわ町各会計決算は、10月22日から10月24日までの決算審査特別委員会（野田省一委員長）で審査し、認定すべきものと決定。

なお、委員会は議長・監査委員を除く全員です。

72件56項目を審査

一般会計ほか6会計の決算に対して、事前に各委員から通告された質疑を行いました。

【主な審査事項】

◆一般会計歳入

大松紀美子委員 個人町民税・法人町民税の収入未済額増の原因と対策について

奥村誠治町民生活課長 個人、法人それぞれ背景には、景気の低迷があり、法人では経営不振や廃業によるもの、個人では収入減などが見受けられ、対策として、督促状、催告書や北海道と連携して共同催告も実施しています。また納税相談・計画納税・納税困難者の停止処分を行っています。

三上純一委員 固定資産税の収納率減少における対策は。

奥村町民生活課長 基本的には、町民税の対策と変わりませんが、特に法人につ

きましては大口滞納が散見されており、困難事例が存在していますが、経営の状況、将来の見通しなども含めて、個別に鋭意納税協議等を進めています。

三上委員 指定寄付金の対象事業は。

酒巻宏臣総務企画課主査 むかわ東京会から豊城桜の丘の整備や維持管理に活用との意向を受けて、桜の丘の草刈り、除草の経費、有害鳥獣の被害対策事業を実施しています。

三倉英規委員 町預金利子の運用と活用状況は。

横山昭弘会計管理者 支払準備に支障のない限りにおいて、定期預金への運用時期と運用金額を見積もって、最低1ヶ月以上の預け入れ期間で積立てをしてい

ます。

北村修委員 穂別農協振興資金貸付元金収入の調定額の内容は。

藤江伸地域経済課主幹 穂別町時代に基金として農協に寄託し、そこで融資をしている事業で、おのこの事情に応じて基金を貸し付けているもので、当該者からの納入金額は農協分含め30万円です。

◆一般会計歳出

北村委員 公有財産管理事務の事業内容は。

熊谷伸一総務企画課主査 普通財産管理費の消耗品費・建物の小破修繕料・建物災害保険の分担金・建物の中で行われる事業に対する保険料・町有地の草刈り業務委託料・子育て住宅に対する測量委託料・今年度購入予定のまちの森の測量及び立木調査の委託料・両地区の土地借り上げ料・建

物等解体工事費・鵜川地区下水道受益者負担金・稲里簡易郵便局業務補助員の賃金と局の運営経費等です。

三倉委員 女性モニター会議の提言内容は。

阿部博之総務企画課長 むかわ音頭の保存伝承に対する要望・穂別地区の空き家

対策、再利用を町事業として要望・穂別地区歩道の整備、休憩等の多目的スペース整備の要望・公園整備の要望・合併後の一体感を醸成するための両地区の交流事業の提案・穂別地区幼児教育に対する要望・災害時の情報の情報伝達手段の充実を求める要望です。



鵜川慶寿苑 新年交礼会

佐藤守委員 木育推進事業の現状と今後の活動は。

三上委員 ひかり保育園の入所率は。

齊藤春樹地域振興課長 木育ファミリ―関係の会議・シラカバ樹皮かご制作ワークシヨップ関連の参集事業を行っています。

今後は、旧和泉小学校を拠点として木育活動をする人を募集していきます。

【民生費】

佐藤委員 重度心身障害者医療助成事業の不用額は。

奥村町民生活課長 件数としては増加していますが、一人当たりの医療費減少によるものです。

大松委員 さくら保育園運営管理事務の不用額原因・待機児童の実態と対応は。

金本和弘地域振興課主幹 賃金等、臨時職員経費、電気・燃料費の節減、その他施設管理費、給食員の検査手数料の減によるもので、待機児童がいるという実態を把握していません。

下回っている要因は。

奥村町民生活課長 23年度と24年度それぞれ対比する形で101・1%です。

【衛生費】

大松委員 看護師養成就学資金の利用と成果は。

奥村町民生活課長 利用者は3人で、新規1人、継続者2人で就労者は2人で鶴川地区の厚生病院です。

【農林水産費】

三倉委員 水産業振興対策事業で前年度に対して減額の理由は。

今村繁吉産業振興課長 前年度平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波被害に伴う漁協への災害復旧事業補助金が減額になったものです。

【商工費】

北山洋子委員 キャンプ場管理運営事業施設利用者・日帰り利用者が前年数値を

藤江地域経済課主幹 高速道路東道が開通したことに伴い国道274号線の交通量が大幅に減少し、日帰りの利用者が減少したものとされます。

【土木費】

北山委員 除雪対策事業の不用額は。

渋谷昌彦建設水道課長 3月の定例会で余裕をもって補正した事によるものです。

北村委員 都市公園等維持管理事務、流用額と不用額の原因は。

渋谷建設水道課長 流用額は47万円で、遊具の塗装と補修を公園の整備工事に含めて工事施工費に計上していました。

公園の整備申請の段階で維持補修に当たることから修繕料により施工することになりました。このことにより、委託料・工事施工費の執行残の中から流用しま

した。

不用額ですが需用費の消耗品費・水道光熱費になっています。

【介護保険特別会計】

大松委員 不用額の原因と対策は。

奥村町民生活課長 要介護認定者の利用状況によって給付費が大きく変動する状況があるわけで、利用者が増加しても円滑に対応していく予算措置をしています。

今後予算措置に当たって、一定の幅がどの程度適当なのか検討していく必要があると考えます。

※質疑内容は要約し、再質疑、再々質疑は紙面の都合上省いております。ご了承願います。

むかわ建設協会と 出前議会で意見交換

11月22日、産業会館において、むかわ建設協会（山越弘会長）と「地域経済の振興について」をテーマに

意見交換を行いました。

出前議会は議会改革の一環で、より開かれた議会や政策活動への多様な町民参加の推進などを目的に平成23年から実施しているもので、建設協会とは3度目となります。産業厚生常任委員会が担当し、議会側から8人、建設協会から8人が出席しました。

建設協会が独自で行った会員の現状に関するアンケート調査等を参考にしながら活発な意見交換を行いました。

話題の中心は、東日本大震災の振興事業や公共事業

の拡大などを背景に「人」と「モノ」が不足し、事業に少なからず影響している。今後もオリンピック関連の整備等に力点が置かれ、地方への予算が増えないのでは。などの地域の建設業を取り巻く課題は多いとの意見が相次ぎました。

またむかわ町においても国営かんばい事業が予定されているが、国の発注となり、地元の業者には工事の恩恵はあまり見込めないとの意見もあり、今後、行政や議会も共有した議論が求められることとなります。



出前議会での1コマ

ここが聞きたい!!

Q&A

3人の議員から一般質問がありました。

※ 一般質問のコーナーは質問者によって作成しております。

Q

広域保育の受入認定は

A

保育所の現場判断です



大松紀美子
議員

大松紀美子議員 今年9月頃、広域保育を受けたいとの相談を受けました。

ひかり認定こども園への希望でした。手続き後の結果は受け入れ出来ないとの通知でした。その後、決算審査委員会で園児数の状況について質問し、資料をいただきました。今年10月現在でしたが希望する年齢には空きがありました。空きがあるのに入所できないなど、町民は納得できません。

町長はこれまで、認定こども園は民間になるが、公的な責任があり、財源だけではなく人的な配慮も行うとし、実際に職員を派遣しています。

広域保育の実態と実施について、またひかり認定こども園との協議の基準について伺います。

奥村誠治町民生活課長 広域保育は、里帰り出産や家族の病気などの理由で、居住地以外の市町村と連携し保育を行うものです。直近の実績では認定こども園開園後では今年度1名他市町村から受け入れし、他町村へは今年度3名の園児が町外で広域保育を受けました。実施の考え方は、関係法令に基づき、子供の状態、職員配置など保育所の実情と照らし合わせ現場判断を基本にしています。特段の基

準は設けていません。

Q 野良猫の去勢・避妊手術費の助成は

A 町内会と議論をし、何らかの対策を検討します

大松議員 たとえ野良猫であつても、ともに命あるものを大切に、人間社会との共生を図りたいというルールを持って餌をやり、自費で野良猫の不妊や去勢手術を行い、飼い主を探すなどの活動を続けている町民の人が多いです。しかし野良猫は増え続け、ご近所トラブルも起きている実態があります。町民から野良猫対策の要望書も届けられています。行政としても、地域猫活動を推奨し、不妊、去勢手術費用を助成するなど、活動支援を行う考えはありませんか。

八木敏彦町民生活課主幹 身近な愛玩動物である犬や猫ですが、犬は捕獲・登録

などの法的規制がありますが、猫にはなく、根本的解決策がないため全国的に猫が原因のトラブルが多く発生しています。こうした問題はどの自治体でもかかえ解決に至らない現状です。提案があつた地域猫活動については野良猫の数を抑制するなどの効果が期待できると考えています。

しかし一方で地域猫の理解も必要なことから、地域猫活動についての調査研究をしたいと考えています。また、自治会・町内会を通じ、猫の適切な飼育方法の啓発に勤める考えです。

Q 防災ラジオの配布を

A 配布の考えはありません

大松議員 各地域に設置されている防災無線は聞こえ



づらいとの苦情があります。災害時の防災情報などを迅速・正確に住民に伝えるために、防災行政無線を受信できる防災ラジオを住民に配布する考えはありませんか。

田口博総務企画課主幹 防災ラジオについて、アナログ使用のものが販売されていますが、本町の防災無線に対応するデジタル仕様のものはない状況にあるため防災ラジオを配布する考えはありません。

Q 児童の安全対策組織化は

A 要請があれば検討



野田 省一
議員

野田省一議員 通学路の安全指導・計画はどのように行われてきましたか。

ことになっていますが、特に問題となる箇所がないので、現在のところ合同点検は実施していません。

大久保利裕生涯学習課長 各学校で、児童の校外安全指導で各家庭への通学路の周知、朝の交通安全街頭指導、通学路の確認や正しい歩行の仕方の学級指導など発達段階に応じた通学ルールの指導を行っています。

野田議員 子どもを守る家、避難所の設定はどのように行っていますか。

通学路の安全確保対策は、学校が保護者の協力を得て交通安全の観点から通学路の点検を行い、危険箇所を抽出し教育委員会に報告され、これを受けて、学校、保護者、道路管理者、警察により合同点検を実施する

八木敏彦町民生活課主幹 子どもが身の危険や不安を感じたときに、安心して助けを求め、駆け込める場所として、鶴川地区には「避難の家」23カ所に看板を設置、穂別地区では「こども110番の家」を旧町時代から設置していますが、穂別地区は、看板・のぼり等は、一度更新しただけで、

数は少なくなっていますので、今後、運動の再構築を含め、防犯業界や自治会、町内会、連合会と協議して進めていきます。

野田議員 児童・生徒の安全、触れ合い、見守り、挨拶、感謝を活動目的に

●登下校時に、1〜2カ所の「立ち見」気配り活動

●児童の通学路に付き添いパトロールで（ウォーキング、買い物、散歩、庭の手入れ等、しながら）周囲の児童に気配り活動

●活動に感謝する、学芸会、運動会への招待など

学校単位でボランティアに感謝する機会をもうけて交流を深める活動

●町や学校からの表彰活動

●町からボランティアとすぐ認識できる着衣の寄与

●避難所との連携 以上のような事業展開について、提案しますが、見解は。

大久保生涯学習課長 青少年健全育成委員会で見守りから地域全体で子どもを見

守っているという意識を醸成しようとする取り組みを学校での取り組みを核とした運動を広げるよう検討しています。

ボランティア活動に感謝する機会や表彰については、これら活動の進展に伴い具体的に検討することになるものと考えています。

野田議員 PTA関係者で見守り、交通安全含めて検討されたようですが、保護者の数も少なく、解決策を模索しているようですが、

解決策として今回提案したようなボランティア組織を教育委員会、関係する課が中心となって、自治会の協力、あるいはボランティアの協力を得ながら組織化する考えはありませんか。

大久保生涯学習課長 団体、自治会、町内会が主体的に行われることに対して指導・支援しているもので、ボランティアの組織化は教育委員会としては考えていません。

野田議員 関係者から申し出があれば、相談に乗っていただけますか。

阿部博之総務企画課長 まちづくり計画において、自治会・町内会を基盤とした自主防犯組織活動の促進を

図ることとしていますが現在、特に住民の皆さんから要望等は上がっていませんが、必要な支援の要請があれば補助事業などによる対応を図っていきたくと考えます。



楽しく登校

Q 福祉灯油支給対象の拡大 と支給額の引き上げを すでに補正予算案に計 上しています



北村 修
議員

北村修議員 冬場にかけて生活灯油が100円台に、福祉灯油の支給対象の拡大と支給額の引き上げの実施を考えては。

奥村誠治町民生活課長 福祉灯油は、今議会におきまして所要の経費を措置すべく1世帯1万3千円を限度額とし、補正予算案に組み入れています。対象枠の拡大と活用実績の拡大については、本対策が療養給付事業など3事業で構成する地域支援事業の一環として行っています。戸別に拡大とはならないが、活用を増やすために、工夫をしています。

Q 住宅前の除雪は

A 個人で処理を

北村議員 苦労されている除雪作業ですが、住宅前など入り口がふさがれる、除雪で貯まった除排雪処理などで苦情となる事態があり、除雪時間の周知や対応に工夫をするとともに必要な場合に人的な対応ができる体制を。

渋谷昌彦建設水道課長 通常の除雪は、10cmの積雪を基本に、作業時間は午前2時から幹線、バス路線を中心に午前7時位を目処にし、10時までには全線の完了を

Q 厚生病院の駐車場で積雪の場合などに心配があるが

A セーフティーコーンなどの設置で対応

めざしています。戸別の間口処理は困難ですが、現地の状況等を勘案しながら、できる限り雪の寄せる位置、場所などの工夫を行っています。間口除雪は、個人での処理を願います。

北村議員 病院が改築され安心への期待があるが①病院への出入りが一方通行だが両側に町道があり、改善ができないものか。②駐車場の縁石など積雪の場合に危険性はないか。③病院までバス利用ができているが、朝夕の2便は時間外で利用増のためにも改善はできないか。

奥村町民生活課長 ①当初は海側山側と出入り口を考えていたが、院内に関連資

材等を搬入する場所の関係と病院側の要望、通行者の安全確保を優先したものだ、安全確保のために看板の設置などを検討します。

②駐車場の縁石などの区別指摘については、今後縁石の端などにセーフティコーンなどの対策をしていきます。③町営バスでは、4路線が8時過ぎに病院に到着で不便かけますが、通学時間帯との兼ね合いがあり、病院は朝7時半からあいているのでロビー等の利用を願います。

山口憲造町長 歩行者を含めて優先順位を考えて進めてきたが、やっと全景ができスタートしたので、改善すべきところがあるとすれば今後進めていきます。

Q 労務単価等の改正が反映されているか

A アンケートでは、改善が割ほどに

北村議員 公共事業の労務単価等の引き上げが行われ、

町発注工事でも適用されているが、現場の労働者に賃金引き上げや福利厚生改善になっていますか。

渋谷建設水道課長 町としての調査、関与は難しいが、建設協会が実施したアンケートによると賃金をあげ



除雪に大わらわ

た、またあげる予定が約74%とされ、改善されてきていると思われる。今後、国土交通省で、5ヶ年計画で社会保険加入を100%としており、連携して強化していきます。※紙面の都合上、一部を割愛いたしました。

REPORT

委員会レポート



所管事務調査報告

総務文教常任委員会

調査事項

学校教育の現状と課題について

【調査の経過と報告】

7月22日は、3項目を調査しました。通学合宿については、新規事業であり、集団で生活することを通じて、生活習慣の見直し、家庭での学習習慣の定着、子供の自立性の育成。また、地域とのコミュニケーションと社会性の育成。さらに子供の成長を通じて、親が家庭での教育について学ぶ機会づくりなどを目的としている。

今後継続した事業実施をするにより、参加者の増加が期待されている。課題は、地域の継続的な協力とボランティアの人員確保

保必要と思われる説明を受けた。本来は各家庭にて取り組む子供の社会教育を時代の変化によって家庭で不足している現状であり、このような事業の必要性を理解するが、一部の地域ではなく全町的な取組となるような事業とするように期待するとの意見交換があった。

いじめ防止対策については、いじめアンケートの調査結果の説明及び各学校の対応と教育委員会

としての対応状況の説明、さらに「いじめ防止対策推進法」について説明を受け、問題が複雑化しており今後の取り扱いに十分注意して、早急な対応を望む意見があった。鶴川中央小学校改築の基本理念については、「小学校機能」「避難拠点機能」「地域交流機能」「児童センター機能



願いをこめて

能「給食機能」を基本に計画と設計を進め、また地域木材を多く使った施設を目指しているなどの説明を受けた。質疑応答の後、最終的な基本計画は12月頃を予定しているため、今回は特に意見はなかった。

11月11日は、鶴川・穂別中学校の運営状況及び問題行動の状況について調査を実施しました。鶴川中学校の問題行動としては、学校の施設の破損行為、授業の妨害などがあり、そのほかにも数名生徒が不登校となっている。それらを受けて、

調査事項 観光振興について

産業厚生常任委員会

生徒の現状を報告、保護者からの意見の聞き取り、さらに学校からの保護者への要望等の意見交換をするため、臨時学年懇談会を全学年にて実施している。また、教職員体制の強化を図り、保護者、学校、教育委員会が一体となった問題解決を進めていると説明があった。また、穂別中学校についても、授業妨害、学校施設の破損行為などがあったが、その都度先生と生徒が相談し、すべてが解決したわけではないが、改善の方向に向かってきているとの説明を受けた。

【調査の経過と報告】
本件は、観光振興について所管課及び観光協会事務局より説明聴取を行った後、質疑及び意見交換を行いました。

参考人として観光協会事務局長に出席をいただき、むかわ町観光について意見を伺いました。

むかわ町は、札幌・千歳空港から近く交通の便はよいが、観光の拠点というよりは通過地点というイメージが強く、近隣市町村と協力した観光事業の開発の必要性、さらにむかわ町内の各施設が個々にPR活動を行っているため、町として一体となった観光PRをしていないということが一番感じているとのこと。本年度新たに、旅行会社との協力で、札幌よりバス2台で体験と食事、買い物が出る「メロンツアー」を企画したところ非常に好評で、今後への手応えを感じている。また、ネットショッピングも順調に売り上げを伸ばしており、今後さらなる

商品の発掘と開発をしたい
きたいと意見がありました。
続いて所管課より観光振興
と地域振興の町としての取
組状況について説明があり
ました。観光振興として、
観光協会と連携しての活動
さらに地域協力隊と連携し
ての滞在型観光の推進、観
光施設の管理、地元事業者
と連携しての町の特産品の
PRと商品開発など業務内
容が多岐にわたっている。
しかし、町外者だけではな
く町民に対してもPR不足
であり、今後の課題として
いる。また、観光振興につ
いては、観光協会を中心に
取組を進めているが、あく
までも外郭団体であるため
行政としての観光振興も目
標をもって取り組む必要性
を感じていると説明があり
ました。

質疑応答後、民間活力を
含めて行政としてより一層
のPR活動をしていただき
たいとの意見交換を行い、
調査を終了しました。

町村議会議長
全国大会

第57回全国町村議会議長
会全国大会が、平成25年11
月23日、東京・NHKホー
ルにおいて、全国の町村議
長など、関係者約千700
人が出席するなか、「真の
地方分権型社会の実現を目
指して」をメインテーマに
開催されました。

蓬清二会長（香川県直島



町議長）が挨拶に立ち「①
国は被災地の真の再生に総
力を結集して取り組むと共
に福島第一原子力発電所事
故の一刻も早い収束②経済
雇用対策の実施③TPPは
我が国の実情に十分配慮し
た交渉を、また農山漁村を
活性化させるための方策を
早急に」等を述べました。
また、当面する重要問題
の解決を図るための決議案
や「東日本大震災からの復
興と大規模災害対策の確
立」「真の分権
型改革社会の
実現」「町村税
財源の充実強
化」「TPP」
等に関する各
特別決議案が
提案され、そ
れぞれ満場一
致で採択され、
大会は終了し
ています。

（尚、決議
の実現に向け
て、正副会長
等得要請活動
が行われてい
ます。）

町民の「こえ」募集

議会を傍聴した感想や町議会へのご意見、
議会だよりのご感想などを議会へあなたの
「こえ」をFAX・郵送でお寄せ下さい。

尚、お寄せ頂いたご意見・ご感想は議会だより
の町民サロンコーナーで匿名にて掲載させて頂
く事がございますのでご了承下さい。

議会事務局 住所 〒054-8660
むかわ町美幸2-88
☎ 42-2486
Fax 42-4994

一是非、町民皆様の「こえ」をお聞かせ下さい。一

胆振管内町村議会
議長会定期総会

平成25年第2回胆振管内
町村議会議長会定期総会が
12月5日午後3時より壮瞥
町役場で各町議会議長が出
席し、開催されました。

平成25年の会務報告とし
て、北海道町村議町会定期
総会での管内議長会として
森林環境整備の充実と林業
の6次産業化についての議
題提出及び管内議員研修会

での講演として、来道外国
人観光客によるサイクリン
グ観光の振興に向けた基礎
調査についてと題した講演
の実施などの会務報告が承
認され、協議事項として平
成26年度事業計画（案）他
3件を協議し、終了いたし
ました。

広報委員
委員長 長谷川健夫
副委員長 北山 洋子

委員 星 正臣
野田 省一
三上 純一
佐藤 守
山崎 満敬

編集後記

議会は議会基本条例を
制定、今後の議員活動を
明文化した条例に伴い、
行政の審査機関である議
会と町民皆さんの声を行
政に反映する二元代表制
を充分発揮して、合併し
てよかったと言われるま
ちづくりを提案する経緯
を議会だよりを通して町
民の皆さんにお知らせし
ていきます。

議会だよりを編集する
に当たっては、読者の声
を聞き、内容が分かりや
すく、読みやすくをもッ
トに編集に努め、議会
の動きを分かりやすくお
知らせしていきます。
また1年議員活動を通
して「まちは家族」であ
るために議会とみなさん
との協働で午年の馬力を
もたらす頑張りましよう。
（長谷川 健夫）